

2012 年度理数系学会教育問題連絡会の活動報告

一昨年度（2011 年度）に引き続き教育委員会担当理事として理数系学会教育問題連絡会に出席しておりました。昨年度（2012 年度）の連絡会についてご報告をします。

昨年度の世話学会は、日本物理学会となりました。日本物理学会理事・物理教育委員会委員長で東京農工大学（文部科学省研究振興局学術調査官併任）の三沢和彦教授が幹事となり、2012 年 4 月 9 日（月）に第一回を開催し始動しましたが、その後は幹事の多忙もあり、第二回が 6 月 19 日、以後 10 月 29 日、12 月 17 日、2 月 19 日と開催されました。

二か月に一度の会合では、各学会の動向の報告が主でした。独立行政法人大学入試センターが平成 23 年 4 月 1 日にプレス発表した「平成 21 年告示高等学校学習指導要領に対応した大学入試センター試験の数学、理科の出題科目等について」の対応状況について、昨年引き続き、各学会の報告があり、それに関連することが中心でした。

日本数学会からは、主に「大学生数学基本調査」の報告書について話しておきました。すなわち、昨年 3 月の教育委員会シンポジウム、最終報告書の準備状況、今年 3 月の教育蔭会シンポジウムの予告、等を逐次報告しました。

また、他学会からは、科学オリンピックの実施状況についての報告がありますので、数学系でも、「数学オリンピック財団」から得られる情報を提供してきています。すなわち、国際数学オリンピックに向けて、予選が成人の日に行われ、3000 名近くが参加し、その結果、A ランクとされた 100 名程度が、建国記念日の本選に進み、優秀者（AA ランク）20 名程度が選抜され、3 月末に合宿を行い選手（AAA ランク）6 名の選抜を行っていること、一部の大学では特別推薦入試に対し特典があることも例年通り紹介しています。

日本学術会議の分野別質保証委員会の報告に関連することも話しておきました。

最終回の直前に中央教育委員会の新委員の公表もあり、次期学習指導要領改訂に向けた動きもあるだろうから、次年度には、理数系で力を合わせて、よい理数教育の方向へ動かすための活動を行おう、という発言も出ておりましたので、提言など文書を作成したりロビー活動を行うことになる可能性もあります。

世話学会は、物理系、地学系、数学系（統計、情報含む）、生物系、化学系という順番で回ってきました。世話学会の次の順は地学系ですが、飛んで数学系の統計関係に移ります。日本統計学会が世話学会で、日本統計学会会長の竹村東京大学教授が幹事を務められます。5 月に今年度第 1 回開催予定です。

連続して 6 年間担当し、2000 年近くの時期の 3 年間と合わせて合計 9 年間担当しましたが今回で担当を外れ、次期の方に託します。

以上

教育委員会担当理事 真島秀行